



志木二小だより

令和2年2月号

志木市立志木第二小学校

志木市館1丁目2番1号

TEL 472-0540

学校教育目標 **進んで学ぶ子 心の豊かな子 体をきたえる子**

児童数	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	たんぽぽ	1/24 現在
	75	95	73	77	87	101	13	521



駅で見かけたポスターから

校長 齋地 満

1月15日に人権集会が行われました。クラス代表の児童がスローガンとそこに込められた思いや考えを発表してくれました。古賀教諭からも思いやりの気持ちをもって相手に接することの大切さについて話をしました。子ども達の真剣に話を聞く姿が印象的でした。スローガンは、後日2階渡り廊下に掲示しますのでご覧ください。

さて、右のポスターを駅で見かけました。子どもの作品かと思ったのですが、よく見ると大人向けのポスターでした。気になって調べたところ、各鉄道事業者が連携して駅や列車内における暴力行為の防止を呼びかけるために掲出したものでした。大人にとって当たり前のことを、純粋な子どもの視点からのメッセージとして表現することで、はっとさせるキャッチコピーとしたそうです。また、デザインは、文字やイラストを子どもらしく描くことで、メッセージ効果を増大させ、強く訴えかけました。



これを見て確かに、はっとしたのですが、何か胸につかえるものがありました。アイデアはいいと思うのですが、大人が子どもの特性や力を借りて暴力行為を防止することになるとは・・・。

心理カウンセラーの宮本章太郎さんによると暴力行為増加の背景には、①核家族化が進み、叱られた経験が乏しい。②SNS時代の台頭で、自分の価値観だけがすべてになった。③ネットやAI化ですぐに答えを得られるぶん、想像力が低下し、周囲の状況や気持ちが思いやれない。これら3つの要素が合わさり、コミュニケーション能力が低下し、自分の判断だけが正しいと思いがちになり、考えを否定されたり怒られたりするのには“攻撃された”とみなし、自分を守るために反撃に出してしまうということがあるようです。実は、このような傾向を示す子どもの姿が見られることがあります。

本校では、「話す・聞く活動を通して、自分の思いや考えを表現できる指導法の工夫」に重点をおき、国語科を中心として校内研修に取り組んできました。先日、2年間のまとめとして、1年生の研究授業が行われました。6年生に出題するクイズについて「どの問題にするか」「ヒントはどの順番で出すか」をペアで話し合う子ども達の活動に指導者からコミュニケーションがしっかりと図られ、能力も高いとの言葉をいただきました。また、学校全体でも言い争いやトラブルが減少してきたと実感しています。児童アンケートからもその傾向が読み取れ、生活面でも成果が表れてきています。

コミュニケーション能力は、人と人のかかわりの中で育まれます。今後も対話的な活動を意図的に取り入れ、高めていきたいと思えます。